

Christopher Weaver (2012). Incorporating a formative assessment cycle into task-based language teaching in a university setting in Japan. In Shehadeh, A. & Coombe, C. A. (Eds.) (2012). *Task-Based Language Teaching in Foreign Language. Contexts: Research and Implementation* (pp. 297-312). Amsterdam: John Benjamins Publishing Company.

1. Introduction

- TBLT をデザイン、実施、評価する際には無数の問題が存在する
- このチャプターは、パフォーマンスと TBLT 間の相乗効果を最大限活かすことに焦点を当てた周期的枠組みとして、どのように評価を概念化できるか調査する
- TBLT カリキュラム内の評価では、総括的評価と形成的評価が役割を果たす

A formative assessment cycle in TBLT

- TBLT における形成的評価サイクルの枠組み (Figure 1)

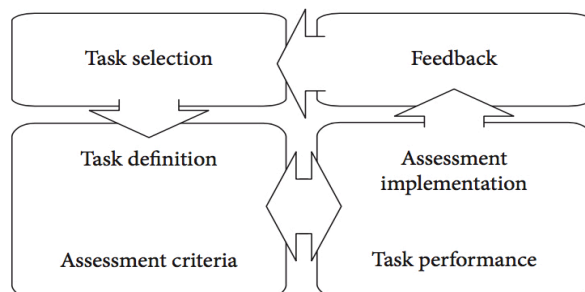


Figure 1. Framework for a formative assessment cycle in TBLT

2. An empirical investigation of a formative assessment cycle in a Japanese context

RQ 1 : 生徒作成したペア評価をするための評価規準と、全体評価を用いた (holistic evaluation) 評価では、どの程度評価に変化があるのか

RQ 2 : 英語でプレゼンテーションをすることで、スピーキング能力・パワーポイントデザイン能力にどの程度変化があるのか

RQ 3 : プレゼンテーションのセクション毎の異なったタスク条件は、タスクの難易度を変化させるか

また、学生が聴き手に納得させる説明 (企業に投資をしたくなるような) をすることは、どのくらい難しいのか

3. Method

3.1 *Participants*

- ・ 経営学専攻の日本人大学生 46 名（女：18 名，男：28 名）
- ・ 年齢は 19～21 歳
- ・ 1 年間 oral English presentation と PowerPoint design skills の講義を受講していた

3.2 *The task*

- ニューヨーク証券取引所のリストに載っている上場企業について、生徒たちが投資をしたくなるような英語プレゼンテーションをする（3～5 分間）
- プレゼンテーションは 3 つのセクションからなる
また、各セクションに異なったタスク条件が課されている
 - 1) 企業について、選んだ理由を説明する
 - 2) 4 週間でどのくらい株価が変動するかを述べ、できる限り株価変動の理由を提供する
 - 3) 企業の成長に対する特徴を 3 つの領域から述べ、なぜ企業に投資するよい機会なのかを説明する。
- タスクの目的は、経営学を学ぶ学生が将来就職活動をする際に、企業分析ができるようになってほしいというものである

3.3 *Materials*

- プレゼンテーションの評価は、ペアが行う（評価基準は日本語で書かれたものを使用する）
- 評価基準は、昨年度に行ったプレゼンテーションの映像を 5 つ見て、作成したもの
- 評価は、それぞれ 2 つの Speaking skills と PowerPoint design skills のカテゴリーで行う
※ 評価の詳細は、Appendix B を参照
- プレゼンターとスライドの評価を評価基準に基づき、4-points のリッカート尺度で評価
また、プレゼンを見て投資をしたくなったかどうかを 2-points dichotomous scale(call to action) で評価
(No=1, Yes=2) する。

3.4 *Procedure*

- 1) 初めに、教員が形成的評価サイクルについて説明を行う
- 2) 形成的評価サイクルに従い、学生たちは前年のタスク導入に関する映像を見る
- 3) 過去の 5 つプレゼンテーションの映像を見た後、ディスカッションを行い、教員と共に評価

基準を作成する

- 4) 作成した評価基準を使用して、他の 5 つの映像を評価する
 - 5) 今回行ったプレゼンテーションの評価は、Rasch の測定理論を用いて分析
 - 6) 分析結果と共に、教員が学生に評価基準の大きな特徴である Speaking skills と PowerPoint design skills したタスク・パフォーマンスの報告書を提供する
 - 7) 学生が受け取った 2 つの skill に関する評価について振り返りを行うために、教員が学生一人ひとりにフィードバックを行う
 - 8) 今回のプレゼンテーションを記録する
- ※ 1~8 までの手順を 90 分×5 回で全て終了

3.5 Analysis

- ペア評価は、ファセット分析を用いて分析を行った
ファセット分析とは…基本カテゴリーを念頭に置きながら、主題がどのような特性によって区分されるべきか（あるいは構成されているか）を決定するための分析法

4. Result

Figure2 について

第一コラム：logit scale (数値が 0 以上の場合正の効果、0 以下なら負の効果がある)

第二コラム：the students as raters

第三コラム：PowerPoint presentation competence, gender (1 = female. 2 = male)

第四コラム：The different task requirements for each section of presentation

■

4.1 The application of the assessment criteria (Figure2 コラム 1 参照)

- 17 人がやや寛容的 (0~-0.62logits)、14 人がより寛容的 (-0.96~-1.7logits)、12 人が最も寛容的な (-1.93~-2.25logits) 評価であった
- 評価者間で、発表者を評価する能力のレベルが異なっていることがわかる

4.2 The range of student competence to deliver a powerpoint presentation (Figure2 コラム 3 参照)

- 29 名が 0 以上のため能力がある、17 名がそうではないことがいえる

4.3 The difficulty level of the task requirements (Figure2 コラム 4 参照)

- 0 よりも上ならばタスクが難しいと言える

4.4 *The holistic “call to action” evaluation*

- Figure2 から、46 企業中投資をしたいと思うと答えた企業は、21 であった

5. Discussion

- タスクの評価基準では、ペアの文法能力レベルは含まれていない
- 評価基準を標準化することを目的としたトレーニング・セッションを設けることで、厳しい評価者の範囲を減らすことができる
しかし、そのような時間を設けるよりも、実践的で価値のある授業設定をしたほうがよい
- ペア評価を取り入れることで、教育的な利益を得ることができる
- 信頼できる形成的評価フィードバックをするためには、妥当性の問題とターゲットタスク・パフォーマンスの特徴について明示的に定義する必要がある
- Figure2 の 1・2 番目のコラムにおいて、logit scale を用いて能力レベルを調べることができるが、この文脈以外でのこの数値は何の意味も持たない
- フィードバックのセッションを設けることで各学生の違いについて理解することができる
- 談話分析において、タスク中説明が必要な場面で、説明がないものがあつた
例) 株価についての詳細な情報
- 談話分析は、形成的評価サイクルに取り入れられる必要がある

6. Conclusion

RQ1 : 生徒作成したペア評価をするための評価規準と、全体評価を用いた (holistic evaluation)

評価では、どの程度異なるのか

- ペア評価の方が、自分たちで作成した評価規準を使用し、評価に求められる条件に従おうとするので、深い理解が得られる
- プレゼンをしている生徒に注意を向けるようになる
自身がペアのプレゼンを見て、評価するためである

RQ2 : 英語でプレゼンテーションすることにおいて、能力のレベルは生徒によってどの程度異なるのか

- 46 名のせいと全員が、スピーキング能力よりプレゼンテーションデザイン能力の方が強く見られた
- 企業について説明することが難しく、生徒たちはとても難しいレベルのスピーキングスキルを経験した

- **RQ3** : プレゼンテーションのセクション毎の異なったタスク条件は、タスクの難易度を変どの程度変化させるか
また、学生が聴き手に納得させる説明（企業に投資をしたくなるような）をすることは、どのくらい難しいのか
- 企業に関する知識がより必要になり、企業に関する理解も必要になる
- また、企業に関する説明をさらに求められるようになる
- よって、難易度に影響することが言える

Appendix A

You are a junior analyst at a brokerage firm. You need to deliver a three-slide PowerPoint presentation about a company listed on the New York Stock Exchange that you think is a good investment opportunity. Your PowerPoint presentation should include the following information:

Slide	PowerPoint	Presentation
One	Name of the company Picture representing the company's business	Describe which company you chose and the type of business they do Explain why you chose this company
Two	Current stock price of the company Stock price from December 2006 to January 2007	Describe the current stock price Explain a possible reason for changes in the company's stock price
Three	Three future growth areas for the company	Describe three future growth areas for the company Explain why these future growth areas make the company a good investment opportunity

Your peers will evaluate your presentation using the Assessment Criteria below. You will not be able to read off a piece of paper while you are delivering your PowerPoint presentation.